

新病院長挨拶

半田市立半田病院
病院長 渡邊 和彦



去る4月1日、半田市立半田病院長に就任いたしました。超高齢社会を迎える中、医師の働き方改革、地域医療構想の実現など、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、基幹病院である半田病院の舵取りを任せられ、その重責に身の引き締まる想いがあります。私は平成12年の着任以来、脳神経外科診療を担当し、医療安全や災害対策に従事し、平成26年からは副院長として院長を支えてまいりましたが、これからは病院全体の運営、そして知多半島医療圏全体の医療に視野を広げ、新病院建設や常滑市民病院との経営統合などの喫緊の諸課題に、先頭に立ち遂行してゆく所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度は、二度にわたる新型コロナウイルス感染のクラスターを発生させてしまい、皆様にはご不安かつご迷惑、ご不便をお掛けしました。関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。感染予防策の基本に立ち返り、失った信頼を早期に取り戻せるよう、職員一丸となってより良い医療を提供してまいります。

さて、全国的には地域医療の崩壊が危惧されており、特に地方の医師減少や財政難に伴って、公立病院が縮小・廃院に追い込まれています。質の高い医療提供には、健全経営が必須である信念を持って経営改善に努力してまいりましたが、各病院が単独で努力するには限界があり、複数の医療機関が機能を分担し、連携して効率的な診療を行うことが、健全経営、地域住民の為にも重要であると認識しています。

医療機関の再編・統合は国の方針でもあり、この流れは止められません。常滑市民病院との医療連携は、2つの自治体が2つの病院を地方独立行政法人化して経営する全国初の統合です。医師や看護師不足の解消、高度医療から回復期医療までをシームレスに提供し、新たな感染症拡大時にも対応できるモデルケースとして、安心と安全をこの先、安定的にお届けできるように取り組んでまいります。

当院の理念である「良質な医療の提供を通じて、地域社会に貢献する」ため、職員一同日々努力してまいりますので皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

★「はんだ市報」は今月から月1回の発行に変わります★

月1回になりますが、特集記事を充実させることで、ページ数を増やし今まで以上に読みごたえのある市報にしていきたいと思いますので、楽しみにしてください。また、市ホームページや市公式ラインなども活用し、様々な情報をタイムリーに発信しますので、ぜひ登録してください。なお、高齢者向け情報は、これまでどおり紙面でお伝えしてまいります。

みなさんの「声」を聞かせてください アンケート

- Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。
- Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。
- Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

回答方法

住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、ご送付ください。

あて先

〒475-8666

東洋町2-1

企画課

Eメール

kouhou@city.handa.lg.jp



4月1日、半田市立半田病院に就任いたしました。超高齢社会を迎える中、医師の働き方改革、地域医療構想の実現など、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中、基幹病院である半田病院の舵取りを任せられ、その重責に身の引き締まる想いがあります。私は平成12年の着任以来、脳神経外科診療を担当し、医療安全や災害対策に従事し、平成26年からは副院長として院長を支えてまいりましたが、これからは病院全体の運営、そして知多半島医療圏全体の医療に視野を広げ、新病院建設や常滑市民病院との経営統合などの喫緊の諸課題に、先頭に立ち遂行してゆく所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記